

1.1 汚泥処理共同化事業

越前市と南越清掃組合では、令和6年度からのし尿・浄化槽汚泥と下水道汚泥の処理の共同化に向け、令和4年7月から、既存し尿処理施設の北側に汚泥前処理施設の建設工事に着手し、令和6年4月より供用開始した。
令和6年度から、既存し尿処理施設を解体撤去に着手している。

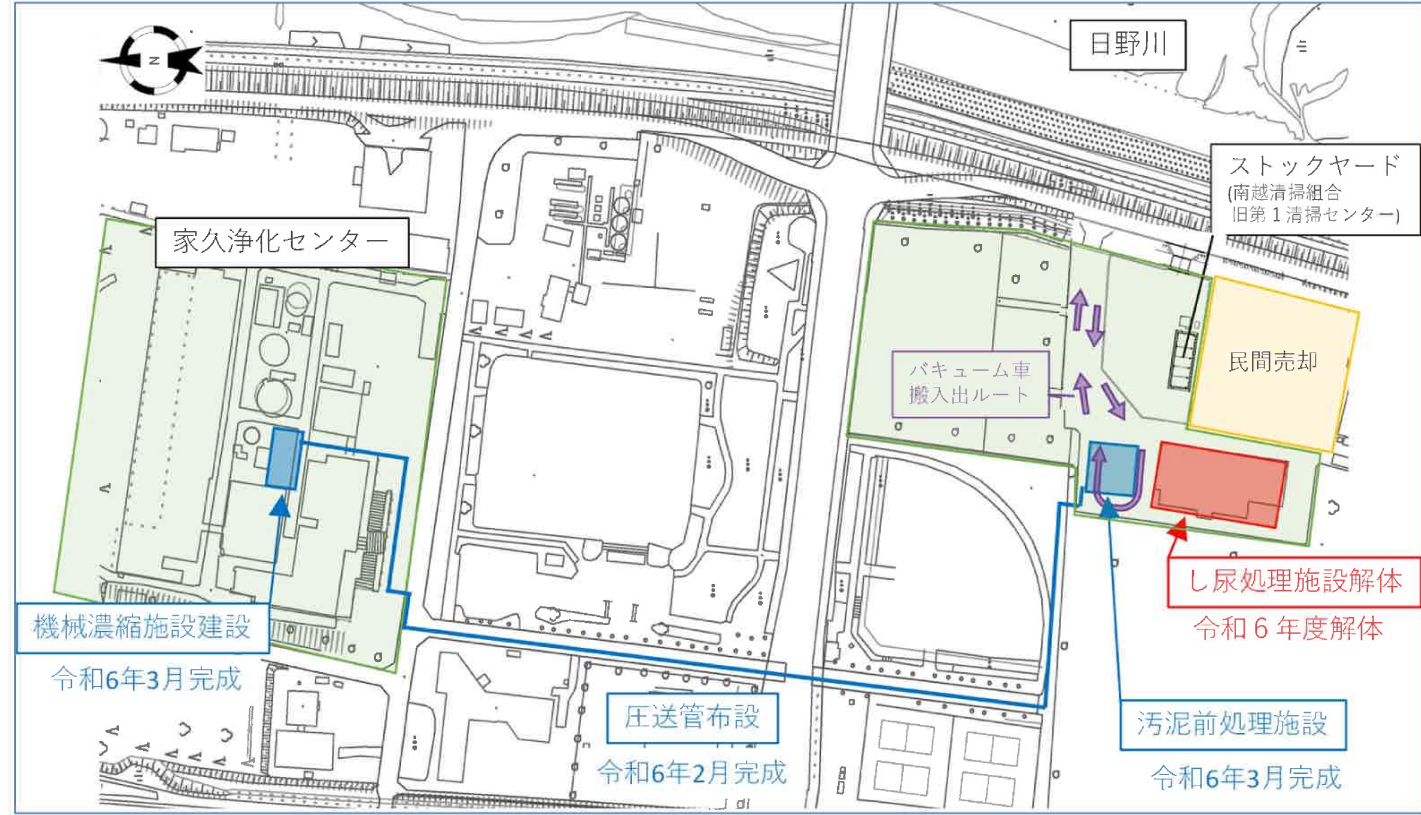


図.1 汚泥処理共同化事業の概要

表.1 汚泥処理共同化事業の工事工程

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
越前市	機械濃縮施設建設工事 (家久浄化センター内)	施工前	施工中	R4.7~R6.3	供用開始	施工後		
	汚泥前処理施設整備工事		杭基礎施工: R4.9~R4.10					
	圧送管敷設工事			R5.8~R6.3				
	し尿処理施設解体工事				(1.2で後述)	R6.6~R7.7		
越前市・南越清掃組合	環境モニタリング(施工前)	R3.5~R4.6						
	環境モニタリング(施工中)		R4.7~R7.7					
	環境モニタリング(施工後)					R7.8~		~R9.7
	環境監視委員会(年1回)	●	●	●	●	●	●	●

(1) 機械濃縮施設

- 施設規模：地下2階地上1階建てRC造
- 建築面積：地上1階 120.21 m²
地下2階 192.50 m²
- 処理能力：20 m³/h



図2 機械濃縮施設

(2) 汚泥前処理施設

- 施設規模：地上2階建てRC造
- 建築面積：416.81 m²
 - 処理能力：61 KL/日
 - 基礎：杭基礎（オールケーシング工法）
- [杭基礎の概要]
- 杭基礎工法：オールケーシング工法
- 杭 寸 法：杭：1,600φ×7.5m×34本
1,000φ×6.4m×4本



図.3 汚泥前処理施設

(3) 圧送管布設工事

- 工事内容：延長 571m
- 下水道用ポリエチレン管
PEφ150×2条 L=1,142m
 - 電線管布設
FEPφ50×5条 L=2,961m
ハンドホール設置 16個



図.4 圧送管の布設工事状況

1.2 し尿処理施設解体工事

(1) し尿処理施設解体工事概要

越前市では、令和 6 年度からし尿・浄化槽汚泥と下水道汚泥を家久浄化センターで共同処理しており、南越清掃組合のし尿処理施設を令和 5 年度末で廃止しました。令和 6 年度は解体撤去に着手しており、地階存置部も含め平地として埋戻し後に民間事業者売却する。なお、整地工事では、旧第 1 清掃センター解体跡地と同様、表層を植生が可能かつ現行のアスファルト舗装部と同程度の遮水性を確保出来る土壌（覆土厚 30cm 程度）を用いる計画である。表 2、図 5 に解体工事の施設概要を示す。

表 2 工事概要

項目	解体工事
施設規模	80kL/日（し尿：35kL/日、浄化槽汚泥：45kL/日）
構造	鉄筋コンクリート造
その他	杭・基礎部分（地下工作物）存置



図 5 し尿処理施設

(2) 工事工程

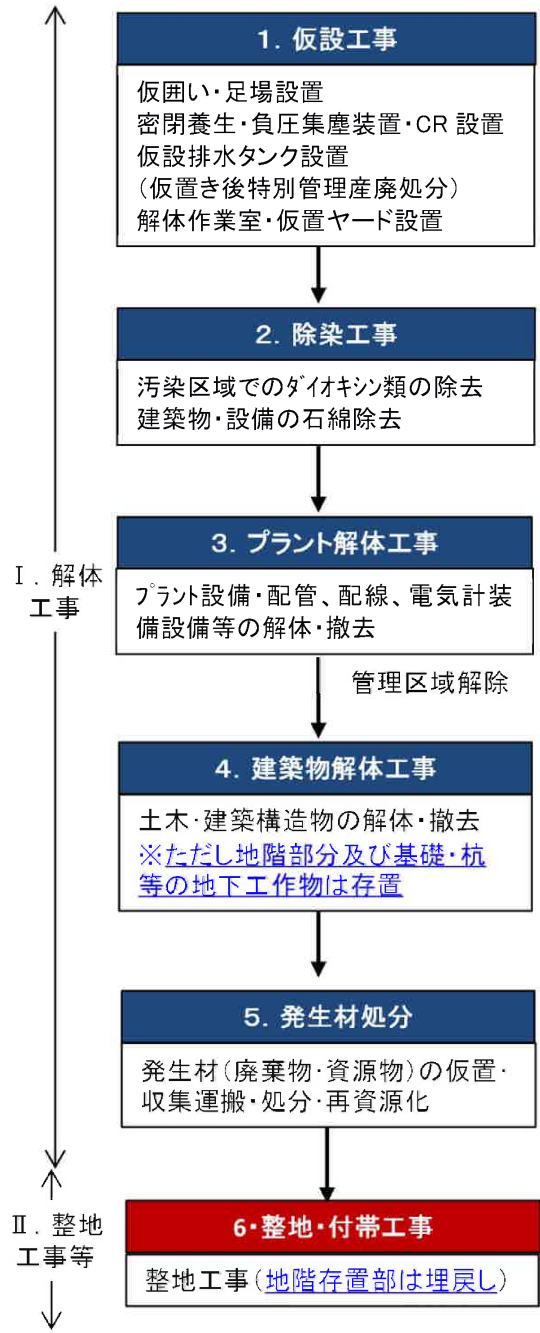
仮囲いや足場設置など仮設工事の後、付着物を洗浄する除染工事を行い、設備、建物の順で解体する。解体完了後、整地・付帯工事を行う。また、工事期間中に環境モニタリングを行うと共に、汚泥前処理施設建設から引き続き地下水モニタリングを行う。工事工程を表 3 に示す。なお、工事完了後のモニタリングについては令和 5 年度の環境監視委員会で決定したとおり、工事完了から 2 年間とする。

表.3 工事工程

項目	令和 6 年度				令和 7 年度
	4	7	10	1	4
し尿処理施設解体工事					
・届出・共通仮設					
・仮設工事（足場・養生等）	R6 年 6 月着手				
・除染工事					
・設備解体工事					
・建物解体工事					
・整地工事、付帯工事					
環境モニタリング （騒音・振動、ダイオキシン類等）					
（地下水モニタリング）					

(3) 解体工事の概要

解体工事の流れを図 6 示す。



建物をシートで覆い密閉養生します。室内の空気をろ過して排気し室内を負圧状態に保ちます。



高圧洗浄装置で設備内部の付着物を洗い流します。（洗浄水・汚泥は特別管理産廃処分）



常時湿潤化し飛散を抑制しながら除去します。除去開始から外気に触れることなく剥離物と濁水を分離します。（産廃処分）



管理区域内で主に重機を用いて解体します。プラント設備撤去後は室内を洗浄します。



重機にアタッチメントを装着しコンクリート部分は圧砕、鉄骨は切断します。

図.6 解体工事の概要